

最新切抜きトピックス

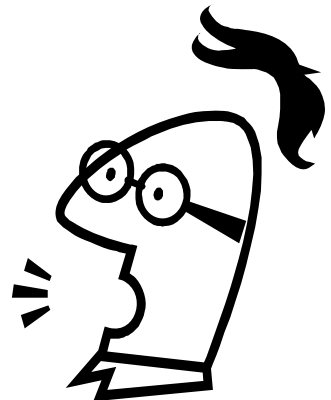
セブンイレブン、新たな「共栄」探る

セブンイレブンジャパン、弁当廃棄損を一部負担
7月から、フランチャイズチェーン（FC）加盟店
が負担している弁当類の廃棄損失の15%を本部が
負担する制度を導入する弁当の値引制限について
公正取引委員会から排除処置命令を受け、方針を
転換した。加盟店からは本部負担を歓迎する声か
あがるものの、消費期限切れが近づいた商品を値
引く「見切り販売」には賛否両論が渦巻く。約35
年にわたるビジネスモデルの制度疲労も垣間見える。
今回の公取委命令は新たな「共存共栄」を築く好機
にするべきだろう。

【2009年6月26日】



弁当に値引シールを張る
店員（19日、川崎市内）



私たち【シヨ袋】派

衣料品専門店がお客に無料で渡す包装用の袋
「シヨ袋（ショッピングの袋）」をセカンドバッグに
活用する若い女性が増えている。「ショッパー」
とも呼ばれ、一昔前は舶来高級ブランドの袋が珍重
されたが、最近では手ごろなブランドの人気の高ま
っている。珍しいものならネット上で1枚1000円近
くで取引される事もある。節約志向の高まりで、勤
め先や学校にお弁当を持って行くのに使う人も多く
ブランド側も実用性の高い丈夫な素材を増やしている。

【2009年6月29日】



「シヨ袋」をセカンドバッグに
（東京都台東区の上野公園）

大手外食チェーン宅配事業拡大

定食屋の大戸屋は5年以内を目途に約200の全店舗で出前が出来るように、景気低迷で
節約志向が強まり、家庭で食事する【内食】が増えている。ただ、買い物や調理に手間を
かけられない共働きや単身、高齢者の世帯などでは、宅配需要が値強いと判断、手軽に
食事できる商品や対応店を拡充する。

S・S よい

